

2007年9月28日

会 員 各 位

日 本 フ ァ イ ナ ン ス 学 会
「研究観望会」幹事 本 多 俊 毅

第 14 回 研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会第14回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回は「リレーションシップ・バンキング」をテーマに、裏面要旨のとおり報告がなされるたいへん興味深いものですので、ふるってご参加たまわりますようお願い申し上げます。ご出欠につき、同封の申込書（葉書 / Fax）にて10月26日（金）までにご返事いただければ幸いです。また、ホームページからのお申込も可能ですのでそちらもご利用下さい。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬 具

記

テーマ：「リレーションシップ型金融仲介の経済分析」

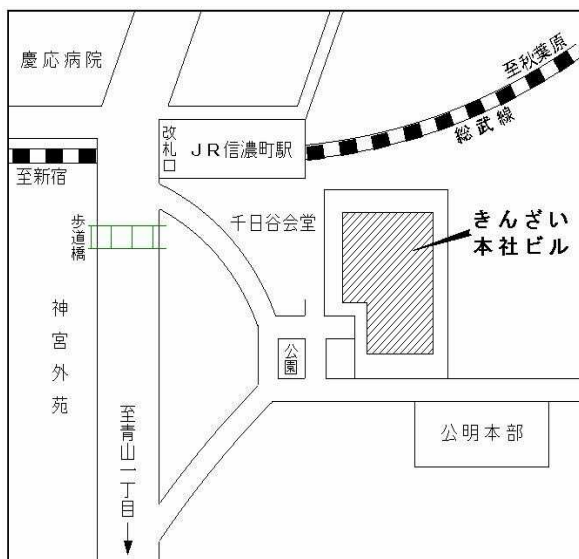
報告者：小倉 義明 氏（一橋大学経済研究所）

日 時：2007年11月1日（木）午後6時30分より

会 場：（社）金融財政事情研究会 2F第1会議室（下図参照）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）Tel：03(3354)2377

JR「信濃町」徒歩5分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 本多 俊毅

（一橋大学国際企業戦略研究科助教授）

Tel：03(4212)3100

E-mail：thonda@ics.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局

（阿部・小林(奈)）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）

Tel：03(3354)2377 Fax：03(3359)7947

URL：http://www.nfa-net.jp

以上

日本ファイナンス学会「研究観望会」

リレーションシップ型金融仲介の経済分析

一橋大学経済研究所
専任講師 小倉 義明

概要：

「リレーションシップ・バンキング」という概念が、20年ほど前から学界で盛んに議論されてきた。現在では、「繰り返し、あるいは複数の取引を通して顧客の情報を蓄積し、これを将来の金融サービス提供に活用するような銀行行動」を意味する用語として定着しつつある。ここでいう顧客情報には、財務データなど外部から客観的に観察・検証可能な「ハードな情報」だけでなく、借手経営者の事業意欲や経営能力、社員の士気など客観的な検証が不可能で、対象に直接接触することによってのみ把握可能な、いわゆる「ソフトな情報」も含まれる。また、「バンキング」という語句が入っているために銀行融資のみを対象とする考え方であると誤解されがちであるが、融資に限らず、「ソフトな情報」が投融資の意思決定に重要な影響を与える、あらゆる局面に対して応用可能な考え方である。

本報告では、このようなリレーションシップ型金融仲介の合理性に関する、(主に「情報の経済学」に基づく)経済学的分析を紹介したうえで、このような金融仲介スタイルの功罪に関する最近の議論を整理する。さらに、地域金融機関の経営統合、市場型間接金融の浸透、クレジット・スコアリングの普及など、急速に変化しつつあるわが国の市場環境における、リレーションシップ型金融仲介の存在可能性、存在意義についても言及する。